

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成26年度採択課題）

中間評価結果（ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
26-3	首都圏三環状概成時を念頭においた料金施策と ITS 施策による非常時を含む総合的交通マネジメント方策の実用化	一橋大学 教授 根本 敏則	A
<p>&lt;研究の概要&gt;</p> <p>本研究は、首都圏三環状概成時において、日常のみならず非常時、さらに将来の維持管理・更新時のネットワーク運用計画策定を可能とする、最適な料金設定や効果的な高度道路交通システムを核とした総合交通運用マネジメントシステムを実装することを目的とする。</p> <p>&lt;中間評価結果&gt;</p> <p>着実に成果を上げ研究は順調に進捗しており、研究成果の見通しも大いに期待できるため、各種の政策提言に向けて、現行のとおり推進することが妥当と評価する。なお、最終年度は交通経済の知見を取り入れ、研究間の融合に向けて研究を推進いただきたい。</p> <p>&lt;参考意見&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 単純化された前提条件の下での経済学的分析の成果を、一般ネットワークでの工学的分析に反映する方法を検討いただきたい。</li> <li>2. 2つのサブテーマ間の理論的整合性について十分に検討を行い、研究間の融合を是非実現していただきたい。</li> </ol>			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第28回新道路技術会議において審議したものである。